

*** 団琢磨が写っていた。**

アーカイブ室新聞 22号で初代東京天文台長で31年間も台長職にあった寺尾寿博士の東京大学教授在職25年記念祝賀会の写真に写っていた人々を紹介した。この祝賀会に寺尾寿と同郷で同じ福岡藩の藩校修猷館で学んだ団琢磨が出席者の中にいたが、写真に写っていた153人の中で名前の分かった135人の中には団琢磨の名前がなかった。

団琢磨については、みなさんも名前はよく知っておられよう。天文学に関係していたことはあまり知られていないが、インターネットで入手した資料によると明治4年(1871年)旧藩主の黒田長知の供をして岩倉使節団の一員として渡米し、そのまま留学、マサチューセッツ工科大学鉱山学科を卒業した工学博士である。明治11年(1878年)に帰国した後、大阪専門学校、次いで東京帝国大学で助教授となり、工学・天文学などを教えたとある。また日本を代表するクラシック音楽の作曲家團伊玖磨の祖父で三井財閥の大立者であり、昭和金融恐慌の時、三井がドルを買い占めたため、財閥に対する非難の矢面に立ち、昭和7年(1932年)3月5日、三井本館前で、右翼団体血盟団の菱沼五郎に狙撃され、暗殺された。

これほどの人物である。写真はインターネットですぐにも手に入るが、在野の天文学史研究家の佐藤利男氏が彼の写真を持って中桐のところに現れた。写真1がその団琢磨である。アーカイブ室新聞19号でこの記念写真に木村栄が写っており、天頂儀の前で撮影された正装の木村栄が同定できた記事を書いたが、今回もその特徴的な髪型から祝賀会に出席していた団琢磨が同定できたのである。この人物には他の人物の名が記されていたが、その同定に間違いがあったようだ。写真2は国立国会図書館のサイトから引用したものである。(http://www.ndl.go.jp/portrait/datas/291_1.html)



写真 1



写真 2

写真 3 が記念写真の寺尾寿と斜め後ろに写った団琢磨と見られる人物である。



写真 3



写真 4



写真 5

写真 4 が寺尾寿博士の斜め後ろの人物の拡大写真、写真 5 は別に入手した写真である。
 写真 6 がアーカイブ室新聞 22 号に掲載した人物同定の写真の一部である。



- | | |
|-------------------|--------------------|
| 62: 清水彦五郎 | 87: 箕作元八博士 |
| 63: 真野文二博士 | 88: 古市公威博士 |
| 64: 野中到 | 89: 青山胤通博士 |
| 65: 藤沢利喜太郎
博士 | 90: 小倉伸吉学士 |
| 66: 飯島魁博士 | 91: |
| 67: 渡邊渡博士
(学長) | 92: 板橋盛俊学士 |
| 68: 戸水寛人博士 | 93: |
| 69: 寺尾寿 | 94: 三上参次博士 |
| 70: 宮崎園次郎 | 95: 池田菊苗博士 |
| 71: 緒方正規博士 | 96: 松井直光博士
(学長) |
| 72: 芦野敬三郎
博士 | 97: 千本福隆学士 |
| 73: 近藤次繁博士 | 98: 笠原留七 |
| 74: 寺尾夫人 | 99: 田丸卓郎博士 |
| 75: 寺尾亨博士 | 100: 山下安太郎 |
| 76: 中村恭平博士 | 101: 後藤牧太学士 |
| 77: 吉田好九郎
学士 | 102: 清水清捨学士 |
| 78: 森アツ子 | 103: 高木貞治博士 |
| 79: 中島鋭治博士 | 104: 国枝元治学士 |
| 80: 松原行一学士 | |
| 81: 丸山末太郎 | |
| 82: 和田雄治学士 | |
| 83: 服部鹿次郎
博士 | |
| 84: 原田親雄 | |
| 85: 藤田外次郎
学士 | |
| 86: 中山秀三郎
博士 | |

71 番の人物はこの写真では緒方正規博士とされているが、69 番の寺尾寿の斜め後ろに写っている事、75 番の寺尾寿の弟の隣に写っていることは寺尾寿と同郷、同じ藩校で学んだ仲を思い、これらの写真から 71 番の人物が団琢磨であろうと推測される。それでは緒方正規博士はどうしてくれるという問題が残る。